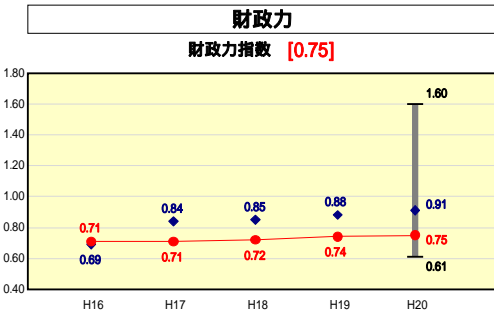
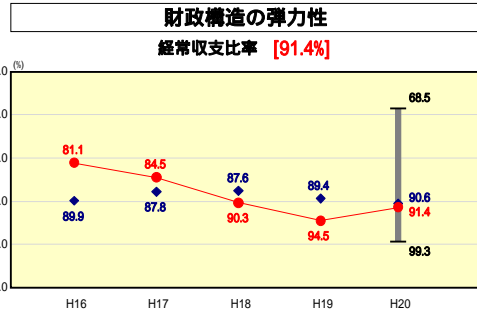


市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)

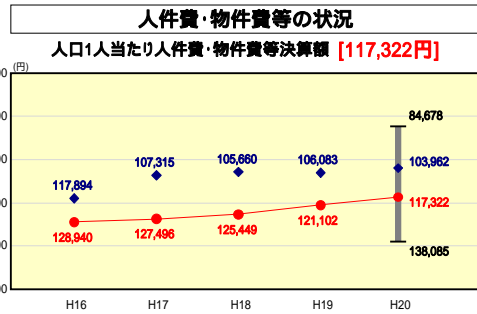


● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 31/43
全国市町村平均 0.56
兵庫県市町村平均 0.66



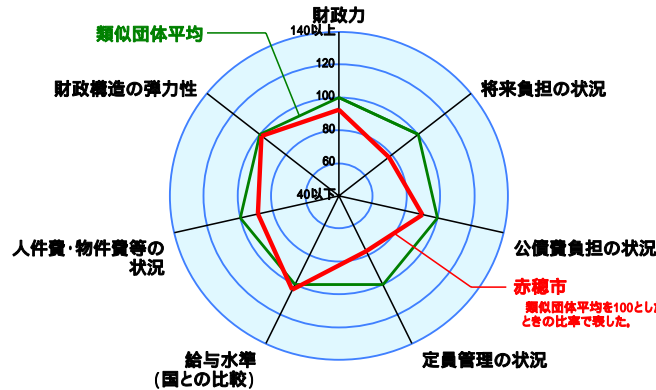
類似団体内順位 22/43
全国市町村平均 91.8
兵庫県市町村平均 94.9



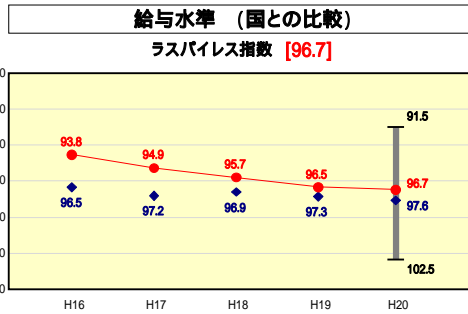
類似団体内順位 37/43
全国市町村平均 114,142
兵庫県市町村平均 113,389

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

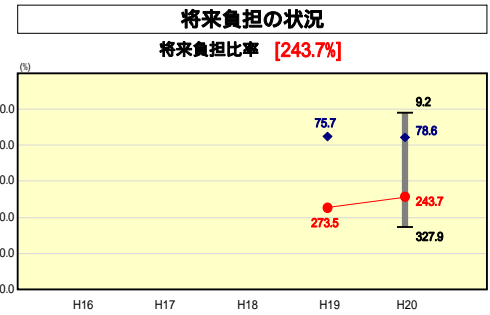
人面	51,524	人(H21.3.31現在)
面積	126.88	k㎡
標準財政規模	11,802,159	千円
歳入総額	17,836,833	千円
歳出総額	17,672,300	千円
実質収支	139,159	千円



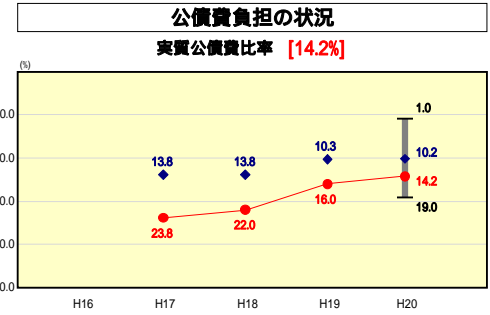
類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



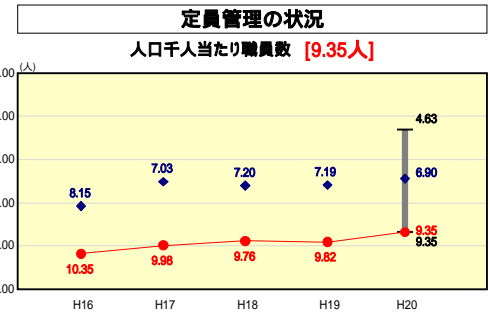
類似団体内順位 18/43
全国市平均 98.4
全国町村平均 94.6



類似団体内順位 37/43
全国市町村平均 100.9
兵庫県市町村平均 149.2



類似団体内順位 29/43
全国市町村平均 11.8
兵庫県市町村平均 13.9



類似団体内順位 43/43
全国市町村平均 7.46
兵庫県市町村平均 7.28

分析欄

財政力指数
前年度より改善されたものの依然として類似団体平均を下回っているため、今後も徴収体制の強化による市税等の確保、退職者不補充による職員数の削減、事務事業の整理合理化、投資的事業の必要性・効果等を考慮した実施等により、財務体質の強化を図る。

経常収支比率
類似団体平均よりも悪い91.4%であるため、職員数の削減、給与の見直しなどにより人件費の抑制に努めるとともに、全ての事務事業について、費用対効果を検証しながら整理合理化を図る行政改革への取組を通じて義務的経費の削減を図り、改善を図る。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体と比較すると高くなっている。主な要因は人件費であり、上郡及び西播磨テクノポリス地域の消防事務を受託していることや幼稚園・保育所・学校給食センターなど子育てに関連する事業を市直営で行っているためである。今後、民間でも実施可能な部分については、指定管理者制度の積極的な導入等により委託化を進め、職員数削減・コスト低減を図る。

ラスバイス指数
平成20年度のラスバイス指数は、県内平均と比較すると依然低い水準となっている。地域手当については6%から平成18年度5%、平成19年度3%、平成20年度より廃止した。さらに管理職手当についても部長級10%、課長級5%のカットを継続しており、今後とも適正な給与水準を維持するよう努める。

将来負担比率
類似団体と比較すると悪い値になっているが、大きな割合を占める普通会計の地方債残高、下水道事業の公営企業債の償還等に係る公営企業会計への繰入見込額についてはピークを過ぎており、今後、さらに改善していくものと見込んでいる。

実質公債費比率
過去の景気対策による投資単独事業の実施などにより、市債残高が累増したことから、類似団体平均よりも悪い14.2%となっている。しかし、平成17年度から投資的経費の圧縮により市債発行額を大幅に抑制(6億円以内)していることから元利償還金の増加は抑えられ、今後、改善していく見込みである。

人口1,000人当たり職員数
類似団体と比較すると多くなっている。その理由としては、上郡及び西播磨テクノポリス地域の消防事務を受託していることや幼稚園・保育所・学校給食センターなど子育てに関する事業を市直営で行っているためである。このような特殊要因があるが、定員適正化計画に基づき、退職者に対する採用数の抑制や再任用職員の活用、民間委託の推進等により、平成17年度から21年度の間に5.1%の純減を目標に掲げ、適正な定員管理に努める。